

あさか訪問通信



歯周病と 全身の病気



R7.3月号

桃の花咲く季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
いまや「国民病」ともいわれる歯周病。進行すると歯を失ってしまうことはよく知られていますが、その影響は口の中だけにとどまりません。歯周病の原因となる歯周病菌は、酸素を苦手とする嫌気性の細菌で、歯と歯の隙間や歯と歯肉の隙間の歯周ポケットなどで繁殖します。



歯周病の進行



歯肉炎

軽度歯周病

中度歯周病

重度歯周病

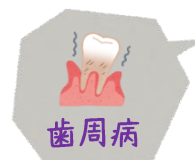
歯周病には、**歯肉炎**、**軽度歯周病**、**中度歯周病**、**重度歯周病**の4つのステージがあります。

歯肉炎	歯周ポケットに歯垢がたまり、歯肉に炎症が起きている状態
軽度歯周病	歯周ポケットが深くなり、歯肉に赤い腫れがみられる状態
中度歯周病	歯肉の炎症が広がり、出血や膿がみられる状態
重度歯周病	歯を支える骨（歯槽骨）が溶け、グラグラしている状態

歯周病のステージが進むほど健康な歯肉は戻りにくく、治療が困難になります。早期発見することで歯周病を予防することができます。



全身にも影響！？



心筋梗塞

心内膜炎



脳梗塞

認知性肺炎

糖尿病

低体重出産

早産

歯周病の恐ろしいところは口の中の病気にとどまらず。全身疾患の関連性も指摘されていることです。近年、**狭心症や心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病、認知症**などさまざまな病気で歯周病との関連性が明らかになってきています。



ホームケアとプロフェッショナルケア



★ホームケア（おうちでケア）

患者さんの担当は歯肉から上の部分

※就寝前に、時間を作って歯磨きしましょう



★プロフェッショナルケア

歯科医師・歯科衛生士の担当は

歯肉にかくれている部分



歯と歯の間の汚れや、歯周病で深くなったポケットの中の汚れは、専門である歯科医師や歯科衛生士しか取り除くことができません。訪問歯科診療でも持ち運び可能な機材を揃えていますので、定期的にクリーニングを受けることができます。

お口の健康を保つことで全身の健康寿命を伸ばし、QOL(生活の質の向上)のお手伝いをさせていただきます。

歯医者さんが怖くて診療に不安がある方は、無料健診も受付けております。お気軽に相談ください。